

私が茨中・茨高に入学して、学習面から感じたことがいくつかあります。1つは、学校全体の施設が充実していることです。特に、私が中学生のときに受けた生物の授業では基礎知識を入れるために、イメージしやすいよう実際に顕微鏡を用いて動物の解剖実験をしたり、植物の細胞を観察したりしました。生物だけに限らず、化学や物理も同じように実験を行いました。ただ写真で見せられて覚えなさいという一方的な授業ではなく、自分から主体的に学ぶことができる授業だったので、十分に知識を獲得することができました。また、主にペアやグループで実験を行うため、全員が協力することが必要となります。それによって各個人の主体性を養い、問題を自分たちだけで解決することのできる能力を身に付けることができたと感じています。もう1つは、課外授業の多様さです。高3だけでなく、高2から様々な教科で放課後や長期休みを利用した講座が開かれています。内容もレベル別に分かれていて、どの生徒も気兼ねなく参加できます。私は国語が苦手である一方、英語は力を付けたいと考えていました。高校2年生の時点から課外を受けることで、塾に通っていなかった私でも課外の予習などをするにより、受験に向けた勉強習慣を付けることができました。また、各生徒の意志を尊重した徹底的な進学指導も印象に残りました。私は総合型選抜で中央大に合格しましたが、受験期間は10月であり、他の生徒より早い時期での受験となりました。私が受けた入試は一昨年から実施されたもので、傾向が全く読めませんでした。合格するために、担任の先生が進路指導部から資料を集めてきてくれたり、コロナの影響で学校に行けなくてもZOOMを用いてオンラインで指導に当たってくれたり、全力でサポートしていただきました。経験のある先生方が私の性格を捉え、強みを生かしてくれたからこそ合格できたと思うので、この学校に入って本当に良かったと感じました。

中高一貫校で部活動をするに当たって他の学校にはないメリットは、校内の充実した施設を使い、継続的に続けられるということだと思います。私は中高6年間弓道部に所属し、部長を務めていました。中学3年生の時に中学弓道部を引退しましたが、高校受験がなかったためにその年の12月には高校弓道部に入部し、高校生の先輩方から指導を受けていました。早い段階で高校生の先輩と活動することで自分のスキルを向上させることができました。他の部活動を見ても、3つあるグラウンドを利用してサッカー部と野球部が十分に練習できたり、化学部などが本校の施設を利用して実験したりと、様々な部活動が工夫して活動しているところもこの学校の魅力だと感じています。その他の行事で思い出に残ったことは、高校1年生の時の文化祭です。私のクラスではジェットコースターを作りました。木材を事前に買い、慣れない手つきでドライバーを回して何とか組み立てようとしていました。それまで知らなかったクラスの生徒の意外な能力を発見したり、各生徒の長所を最大限生かせる場所に配置したりしました。何度失敗しても仲間と試行錯誤して作り上げたジェットコースターは当日大盛況で、これ以上無い達成感と喜びを味わうことができました。

私が茨中・茨高で良いと感じた点は学生生活が楽しいと思うことができるという点です。シンプルですが、学校生活を充実させるためには一番大切なことだと思っています。中学から高校にかけて遠足、研修旅行、クラスマッチ、体育祭、文化祭など学校行事はたくさんあり、飽きることはありません。定期テストや模試などが系統的に計画されており、勉強のペースが作りやすかったです。一人では何となくだらけてしまい勉強に集中出来ないときでも、友達と一緒に勉強することで楽しく過ごすことができました。総合学習の時間では自分の将来に向けて研究したり、SDGsについて議論したりと、今後の自分自身にとって社会を広く捉える視野を身に付けることができ、普段の授業とはひと味違うものもありました。また、私は高校1年生の夏休み、特別課外として裁判傍聴に行きました。そこで法律に関して

興味が湧き、自分の将来を決めることができました。

私は法学部に進学し、司法試験に合格して検察官になることを目指しています。茨中・茨高での経験を生かし、被害者に寄り添えると共に加害者の人権を尊重して反省をさせることのできる検察官になりたいと考えています。そのために、大学では1年生から専門的な分野の知識を取り入れ、様々な視点から物事を考える能力を養っていきたいです。本校の建学の精神である「報恩感謝」を心に刻み、今まで支えてきてくれた全ての人に感謝して充実した生活を送ることのできるよう精進していきます。